



環境経営レポート 18

2020 年度版 (2020.4.1~2021.3.31) 発行:2021年11月1日



よかボス企業



株式会社 池松機工

〒 869-1233 熊本県菊池郡大津町大津 2502-3
TEL : 096-293-7666 FAX : 096-293-8066
HP : <http://www.ikematsukikou.jp>
Mail : info@ikematsukikou.co.jp

■ ■ ■ 目 次 ■ ■ ■

1. 組織の概要
2. EA21取組体制と責任権限
3. 環境経営方針
4. 環境経営数値目標(単年度及び中期目標)
5. 環境経営計画
6. 環境経営目標の取組結果と達成状況
7. 個別取組状況と評価、次年度の取組
8. その他 2020 年度の安全・衛生・環境の取り組み
9. 環境関連法規等の遵守状況の結果、違反・訴訟などの有無
10. 代表者による全体評価と見直し・指示



1. 組織の概要

- 事業者名 株式会社 池松機工
- 代表者 代表取締役社長 池松康博
- 本 社 〒 869-1233 熊本県菊池郡大津町大津 2502-3
TEL 096-293-7666(代) FAX 096-293-8066
HP <http://www.ikematsukikou.jp>
E-Mail info@ikematsukikou.co.jp
- 美咲野工場 〒 869-1233 菊池郡大津町大津字東大山内 1835

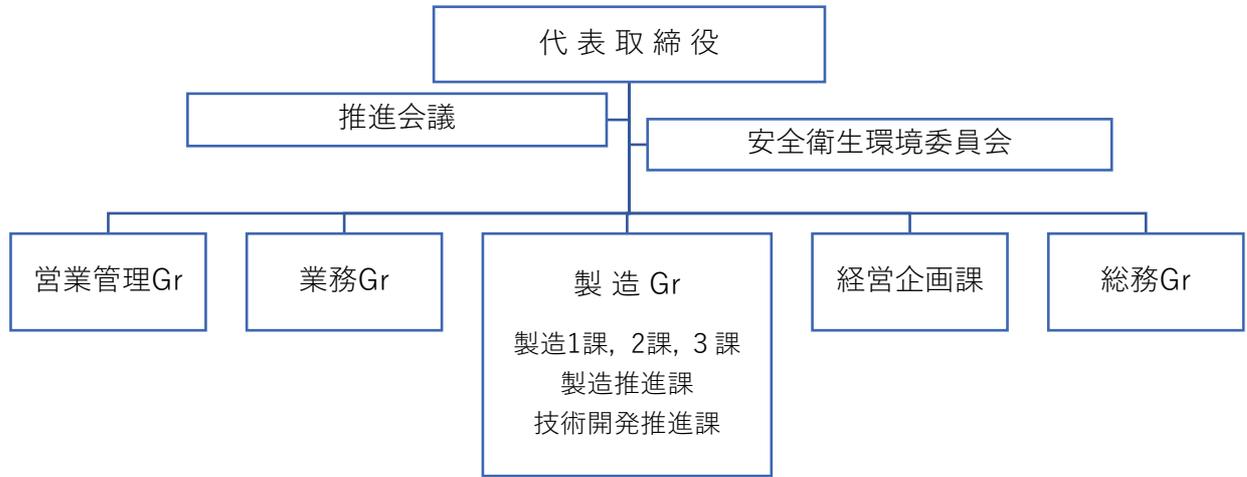
- 対象範囲(認証・登録範囲) 池松機工 本社・工場 および 美咲野工場
- 対象期間 2020年度(2020年4月1日~2021年3月31日)
- 担当窓口 環境管理責任者 岩崎真紀

- 事業の概要 精密部品の加工・販売(アルミ・ステンレスなどの金属加工)、
カテゴリー: 半導体・FPD製造装置、真空装置用精密部品、5軸加工品、大型5面加工品、チャンバー等

- 従業員数 85名(男性72名/女性13名) *2021年4月現在
- 認定/認証 地域未来牽引企業 健康経営優良企業ブライツ500(経済産業省)
ヘルスター健康宣言(全国健康保険協会) よかボス企業
- 地域貢献 大津町の祭り(4月つつじ祭り・8月地蔵祭り)への協賛(本年度はコロナで開催延期)
大津町環境美化の日(年2回、6月/10月)の清掃活動

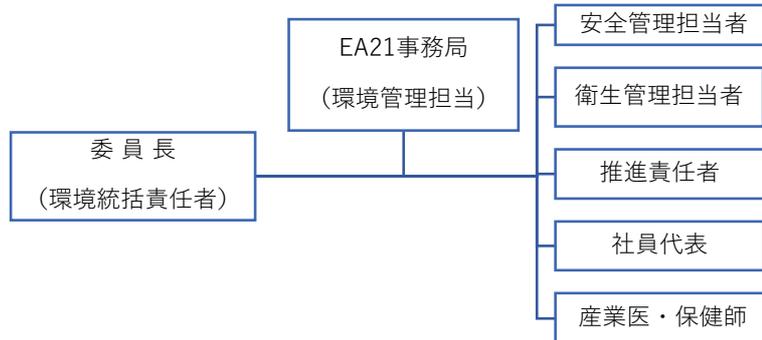


2. EA21 取組体制 と 責任権限



安全衛生環境委員会：毎月第4木曜日開催

安全衛生環境パトロール：毎月第2火曜日実施



役割	責任権限表
環境統括責任者	環境経営の最高責任者、環境方針の制定、環境目標承認、環境経営システムの評価、見直し、環境活動計画の承認
環境管理担当者	環境経営システムの構築・運用の責任者、実績等の代表者への報告、環境目標、環境活動及び環境活動計画書の確認、是正と予防処置管理
安全管理者	設備の安全確認と異常時の対応、緊急事態の発生時の判断、5S推進
衛生管理者	騒音、照度等作業環境測定と報告、衛生環境関連の提案
事務局	環境管理責任者の代行と全般的な推進、環境マニュアルの立案、関連書類の確認、SDS作成・管理、環境関連法の確認、環境データの取りまとめ、環境活動レポート発行・EA実務全般
推進責任者	部門ごと環境活動の推進、活動の見直しと報告、内部、外部コミュニケーション対応、緊急事態の準備及び対応実務、環境教育に関する計画と実施

3. 環境経営方針

環境理念

限りある大自然(地球)限りある生命を
次代に橋渡しする 私たちの本来の使命を果たす為に
このすばらしい自然環境を守り 夢と希望をもてる
豊かな社会を創造し貢献していきます。

環境経営方針

1. 省エネに取り組み 二酸化炭素排出量を削減します。
2. 生産性の向上により廃棄物の削減を行います。
3. 効率的な作業により水の使用量を削減します。
4. 切削油や有機溶剤の適切な管理を行います。
5. 環境関連法規等を遵守します。

制定:2003年9月1日 改訂:2021年4月1日

株式会社 池松機工

代表取締役社長 池松康博

4. 環境経営数値目標（単年度および中期目標）

	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 (基準年)	2020年度 目標	2021年度 目標	2024年度 目標
二酸化炭素削減							
二酸化炭素排出量(t-CO ₂)	635	882	727	897	888	879	852
生産高原単位(*10 ²)	538	618	641	719	712	705	683
削減目標					-1%	-2%	-5%
電力使用量(千kwh)	1,627	1,862	1,733	1,980	1,960	1,940	1,881
生産高原単位(*10)	138	130	153	159	157	156	151
削減目標					-1%	-2%	-5%

（購入電力排出係数 0.442 kg-CO₂/kWh /丸紅新電力 平成30年度実績）

廃棄物削減							
一般廃棄物排出量(kg)	2,582	2,796	2,820	2,352	2,328	2,305	2,234
生産高原単位(*10)	219	196	249	188	186	184	179
削減目標					-1%	-2%	-5%

水使用量削減							
水使用量(m ³)	1,329	1,407	1,311	1,441	1,430	1,410	1,370
生産高原単位(*10)	113	99	116	115	114	113	109
削減目標					-1%	-2%	-5%

5. 環境経営計画

項目		分野	活動内容	担当/時期
CO2 削減	省エネ化 作業効率 電力使用量 削減	・建屋の保守 ・光熱設備の保守 ・工作機械の省エネ化	事務所棟の壁塗装、食堂LPガス撤去、全換気扇の交換、大型複合旋盤工作機械の導入、工作機械の配置換え、不具合削減	製造 年間
資源 の有効 利用	廃棄物削減 リサイクル 促進	・DIYによる補修 ・分別と再利用	フォークリフト点検雨除け製作、期間間近備蓄品の配布、アルミ切粉の分別、アルミ端材利用量の集計報告	製造 年間
	廃油削減	・切削液の腐敗防止	エマルジョンブレーカーの利用、pHチェック	製造 年間
	水の削減	・ムダ水防止	切削油自動給油システムの活用、 流水時間の短縮	製造・業務 年間
化学 物質 管理	有機溶剤/ 切削油管理	・購入量把握 ・ムダ防止	年間購入量チェック、小分けビン利用、こぼれ注意シール、名称ラベル表示、SDS壁管理、リスクアセスメント	製造・業務 年間
車輛 エコ	環境負荷 低減 燃費向上	・車両保守 ・社内点検修理 ・使用ルール遵守	年次点検講習会の実施、フォークリフトの運転講習、電動リフトの夜間充電、納品回数の削減、交通安全のぼり設置	製造・業務 営業 年間
安全 環境 法令 遵守	労働安全 衛生管理 健康改善 環境保護	・法令遵守 ・健康経営 ・地域環境保守	安全衛生環境パトロール、安全衛生環境委員会、コロナ完全防止対策、美化作業、BCP対策、騒音・照度測定の研修	製造・業務 営業・総務 年間

6. 環境経営目標の取組結果と達成状況

	2019年度 (基準年)	2020年度 (目標)	2020年度 (実績)	取組結果 (目標比)	取組結果 (削減率)	達成 状況
二酸化炭素削減						
二酸化炭素排出量(t-CO ₂)	897	888	775	95%	5% 削減	○
生産高原単位(*102)	719	712	683			
削減目標		-1%				
電力使用量(千kwh)	1,980	1,960	1,716	95%	5% 削減	○
生産高原単位(*10)	159	157	151			
削減目標		-1%				

(購入電力排出係数 0.442 kg-CO₂/kWh /丸紅新電力 平成30年度実績)

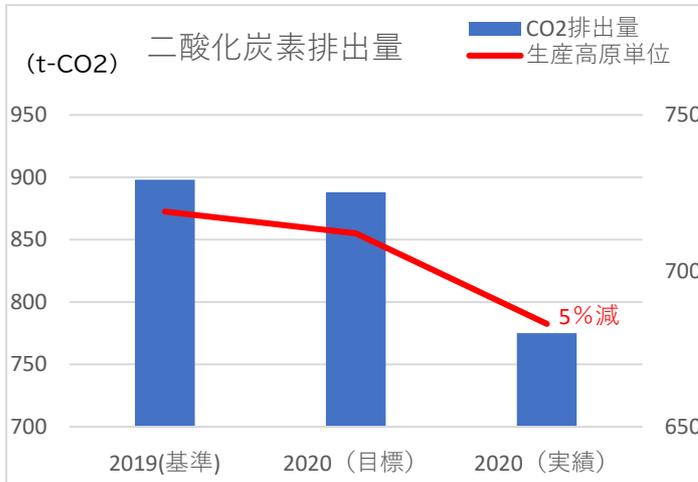
廃棄物削減						
一般廃棄物排出量(kg)	2,352	2,328	2,310	108%	8% 増加	△
生産高原単位(*10)	188	186	203			
削減目標		-1%				
水使用量削減						
水使用量(m ³)	1,441	1,430	1,498	115%	15% 増加	×
生産高原単位(*10)	115	114	132			
削減目標		-1%				

切削油・有機溶剤の 使用量と管理状況

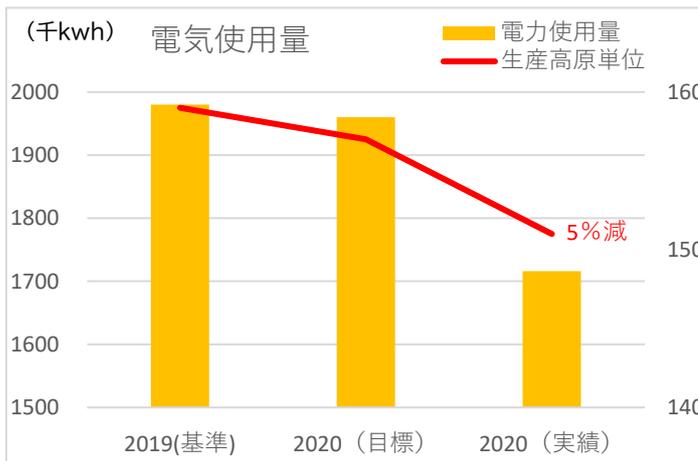
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	実績	実績	実績	実績	実績	実績
切削油使用量(kg)	17,100	27,900	14,400	43,200	35,200	
有機溶剤使用量(L)	646	758	686	886	996	
適切な管理のための チェック項目	購入量把握	○	SDS入手・表示	○	蒸発、こぼれ対策	○
	保管場所、保管状況	○	ラベル表示	○	PRTR非該当	○
	作業衛生環境	○	マニフェスト発行	○	処分後リサイクル化	○
・毎月の安全衛生環境パトロールにて確認。						

7. 個別取組状況と評価、次年度の取組

二酸化炭素排出量



省エネ型 最新 工作機械の導入



再生エネルギーの活用
(太陽光パネルの設置)

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネタイプ大型工作機械の導入 ・ 社内換気扇を全交換(空調管理) ・ 太陽光エネルギーの利用継続 ・ 生産効率改善のための工作機械の移動 ・ 三次元測定 3Dプロットシステムの導入 ・ 事務所窓を強化ガラスに入替
取組評価	<p>CO₂ 排出量削減への取組結果は5%の削減になりました。当社では CO₂ 排出量の 98%が電気使用量になりますが、省エネ型工作機械の導入や、生産工程の集約化を目的とした機械の移設を行い、電力使用量を削減しました。</p>
次年度の取組	<p>現在 取組中の『DX』拡充の視点から、生産工程の自動化・省人化を図り、CO₂ 排出量の削減に取り組めます。2021 年度より『SDGs』を全社体制で取り組み、再生エネルギーの充実化を図ります。研修等による人材能力の向上を行い効率化、多能工化による CO₂ 排出量の削減を行います。</p>

廃棄物排出量	
<p>(kg) 廃棄物排出量</p> <p>■ 一般廃棄物排出量 — 生産高原単位</p> <p>2019(基準) 2020(目標) 2020(実績)</p> <p>8%増</p>	<p>アルミの廃材の仕分け (形状別に分類してリサイクル)</p>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルミ端材利用促進 ・ キュービクル防錆塗装 ・ 美化作業 ・ 期限間近備蓄食料品の配布(フードロス) ・ アルミ廃材リサイクル促進
取組評価	<p>排出量総量としては減少しましたが、生産高原単位では基準年度より8%の増加になりました。2020年度はコロナが流行したため、除菌・清掃用品の購入や、ウエス、ペーパー等の使い捨てが増え、廃棄物の増加につながりました。</p>
次年度の取組	<p>廃棄物の分別・リサイクル化の仕組づくりを促進します。廃棄場所に、絵や記号などを利用した表示やポスターを作成・掲示。全体での協力と意識の向上に努め、廃棄物の削減につなげます。</p>

水使用量	
<p>(m³) 水使用量</p> <p>■ 水使用量 — 生産高原単位</p> <p>2019(基準) 2020(目標) 2020(実績)</p> <p>15%増</p>	<p>オイルミキサー 切削液と水をムダなく一定の濃度に自動調整</p>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節水シール貼付 ・ 浄化槽水質検査 ・ 潤滑油濃度チェック ・ オイルミキサーの利用 ・ 手元止水シャワーの利用
取組評価	<p>水使用量は、基準年度に対し、生産高原単位で15%の増加でした。洗浄品の量に大きな増加はありませんでしたが、施設の修繕および環境対策として、事務所や工場等4棟の外壁塗装の際に、洗浄用水が増加し目標は未達になりました</p>
次年度の取組	<p>古くなった節水シールの貼替、日常的な節水取組のほか、水性切削油の濃度測定やチェックによる腐敗防止の取り組みを継続します。加工品の洗浄の際に、前段取りを取り、流水時間を最小限にします。作業員間での連携を密にして業務に当たり、節水につなげます。</p>

8. その他 2020 年度 安全・衛生・環境 の取り組み

毎月	安衛環パトロール、安衛環委員会、コロナ感染対策(アルコール補充、検温チェック、間仕切設置 他)		コロナ感染対策 (サーマルカメラ) (アルコール手指消毒薬)
4月	AED 設置、建物壁塗装、LPガス廃止、大型車通行案内表示、新人安全環境教育、フォークリフト点検講習		AEDの設置
5月	環境エネルギー調査、Jアラート訓練、浄化槽点検、マニフェスト報告		美化作業
6月	美化作業、節水シール貼替、全換気扇入替、害虫対策、有機溶剤講習会、有機溶剤SDSの掲示		工場 床の塗装 (防汚、防滑)
7月	在宅勤務実施、消防設備点検、浄化槽清掃、電柱絡み植物伐採、フォークリフト雨除設置		工場の 壁面塗装 (作業環境対策)
8月	工作機械の配置移動、KYT研修会、駐車場電柱の植物伐採		全面塗装後
9月	美咲野ハチの巣除去、台風対策、交通安全週間ノボリ設置		
10月	感染BCP研修、美化作業、工場の壁と床の塗装		
11月	駐車場除草作業、インフル予防接種、期間近備蓄品の配布		
12月	役職者研修会、浄化槽水質調査、沿道沿いの樹木伐採、太陽光発電量調査		
1月	EA 審査、浄化槽清掃、車両ドラレコ装着、キュービクル防錆塗装、廃油置場横に油漏洩防止柵を設置		
2月	強化ガラスに入替、ロードスイーパー導入		
3月	備蓄品補充、騒音測定、健康診断、健康経営の認証授与、沿道沿いの樹木伐採		

9. 環境関連法規等の遵守状況の結果、違反・訴訟などの有無

環境法規一覧表・遵守評価表 【当社関連法規等】

区分	適用法・条例	対象品	遵守評価
水質	浄化槽法	浄化槽	○
音・振動	騒音振動規制法	空気圧縮機・送風機	○
大気	フロン排出抑制法	業務用大型エアコン	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	マニフェスト管理	○
	水銀に関する水俣条約	蛍光ランプや電池等	○
リサイクル	家電リサイクル法	冷蔵庫、洗濯機、テレビ	○
	小型家電リサイクル法	パソコン・周辺機器等	○
有機溶剤	毒物及び劇物取締法	メタノール	○
化学物質	RoHS2 指令, REACH 規則	特定有害物質の未使用	○
消防	消防法施行令	消防・防災設備機器	○

池松機工は環境関連法規を遵守し、環境方針に沿って生産活動や環境保全活動を進めております。
過去3年間を通して、環境関連法規などへの違反、訴訟および関係機関や近隣周辺住民からの指摘事項や苦情は1件もありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

環境方針	環境目標	環境活動計画	経営システム体制
体制の変更に伴い一部変更	見直し実施	業務内容に応じ計画する	仕組みの充実度を図る

全 体 評 価

2020年度は、第1工場の屋根工事や、外壁及び床塗装、そして第2、第3工場・出荷室などの外壁と床塗装のリニューアルを計画、実施いたしました。熊本地震の補修も兼ねた工事でしたが、断熱効果の高い塗装や第1工場のアルミ材を使用した屋根工事などは、CO2削減に配慮した事業となり、社員のモチベーションにもつながったと理解しております。

一方、スマートファクトリー計画の下、全社生産性向上を旗印に美咲野工場への工作機械集約化を進めました。さらには（長時間無人稼働）を実現すべく「パレットシステム」を導入しました。このシステムにより2台の工作機械を連結することが可能となり、長時間稼働へ大きく前進しました。また、「見える化システム」を導入し、長い年月検討を重ねてきた美咲野-第3-第5各工場の主力設備を“見える化”することが実現しました。これにより、生産性向上はもとより機械トラブル対応などのダウンタイムの短縮にもつながり、DXへの取り組みの一環となりました。

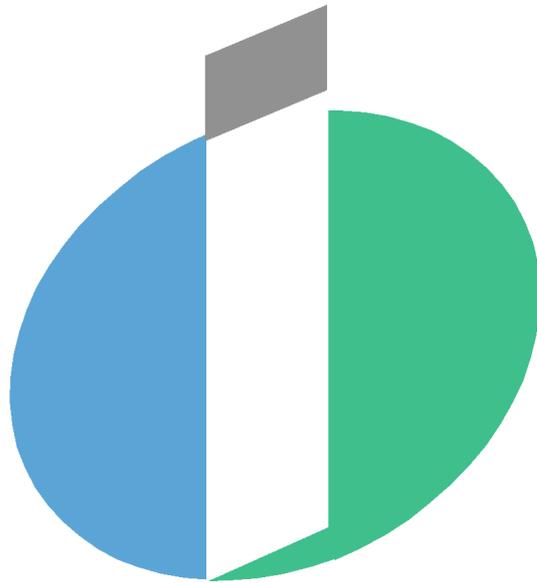
これまで、立形マシニングセンター中心から、5面加工機、横形マシニングセンター、同時五軸マシニングセンターと、最新設備投資を切れ目なく行って参りましたが、今年度は複合加工機を初めて導入しました。技術の高度化を更に進め、マーケット拡大に注力したいと思っております。今後も質の高い仕事を担保するためにも、継続した最新設備の導入や技術教育を進めて参ります。

このような状況の中、今年度も「一人ひとりが主役」との合言葉により、全社一丸となってEA21に取組んで参りました。その結果として着実に期待を持てる成果に繋がりましたが、一方では補修事業なども重なり課題も残っております。これを受け更なる改善が求められますが、全社員参画型で取り組みを深め、来年度の新たな環境経営戦略を掲げるため、熟考を重ねてまいります。

2021年11月1日

株式会社 池松機工

代表取締役 池松 康博



IKEMATSU



SDGs

Sustainable
Development
Goals